

資料1

令和2年度庶務報告

●会員数 (令和3年3月31日現在)

		正会員	医師	看護師	救急隊員・ 救急救命士	薬剤師	臨床検査技師	放射線技師	ソーシャルワーカー	その他 ※	組織会員	賛助会員	合計
令和元年度末会員数		4,133	1,820	678	323	652	321	170	37	132	93	4	4,230
令和2年度	新入会	288	109	50	38	89	1	1	0	0	2	0	290
	届け出退会	116	58	16	3	19	4	7	2	7	0	1	117
	死亡退会者	5	3	0	0	1	1	0	0	0			5
	自然退会	348	117	95	53	47	13	12	0	11			348
年度末 (R3.3月末) 会員数		3,952	1,751	617	305	674	304	152	35	114	95	3	4,050

※ その他の職種について

・臨床工学技士、臨床心理士、管理栄養士、大学院生、大学教員、事務員等

●正会員年会費納入状況 (令和3年3月31日現在)

	令和2年度	令和2年度 以前	令和3年度 以降	本年度 徴収率	前年度 徴収率
医師	1,465	226	9	86.71%	83.13%
看護師	324	288	1	53.02%	79.88%
救急隊員・ 救急救命士	232	66	1	77.93%	71.57%
薬剤師	613	58	2	91.38%	86.82%
検査技師	273	30	1	90.13%	90.61%
放射線技師	119	30	3	80.26%	75.92%
ソーシャルワーカー	27	8	0	77.14%	94.28%
その他	97	15	2	86.84%	84.78%
計	3,150	721	19	79.71%	82.74%

資料1

令和2年度庶務報告

【物故会員】 (届け出順) [敬称略]

おおわだ たかし 大和田 隆	(学校法人 湘央学園 湘央生命科学技術専門学校校長、医学博士)	*名誉会員*	職種：医師
みねむら あつこ 峯村 純子	(昭和大学横浜市北部病院 薬局)	*評議員*	職種：薬剤師

※令和2年8月1日（前年度回社員総会）以降の届け出、令和3年5月20日時点

【役員】

理事	14名
監事	2名

社員（評議員）	421名	（令和3年4月1日委嘱） *任期：～R7年3月31日迄
名誉会員	36名	
功労会員	26名	

資料 2-1

一般社団法人 日本臨床救急医学会
令和2(2020)年度事業報告

1. 第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会

テーマ：「病院前医療における多職種連携の多様性と将来像」

Live 配信：令和2(2020)年8月27日(木)～28日(金)

オンデマンド配信：令和2(2020)年9月16日(水)～10月16日(金)

会 長：田中秀治先生(国士舘大学大学院 救急システム研究科 教授)

2. 学会雑誌発行及びオンラインジャーナル 23巻(2、4～6号)、24巻(1号)(隔月刊)

3. 抄録集の発行 23巻(3号)

4. ニュースレターの発行 第9、10号(年2回)

5. 会議開催

1) 理事会 年間 通常4回(令和2年8月26日、12月7日、令和3年1月15日、3月30日)

2) 社員総会 令和2年10月13日(※書面での回答を用いて開催)

3) 会員総会 学会ホームページにて報告

4) 各種委員会活動(19委員会)

編集委員会、総務委員会、メディカルコントロール検討委員会、会則検討委員会、教育研修委員会、
評議員選出委員会、広報委員会、丸茂救急医学研究振興基金運営委員会、

学校へのBLS教育導入検討委員会、自殺企図者のケアに関する検討委員会、国際委員会、
救急認定薬剤師認定委員会、緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会、研究倫理委員会、

小児救急委員会、患者安全検討推進委員会、

傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生のあり方に関する検討委員会、

法執行機関との医療連携のあり方に関する検討委員会、蘇生ガイドライン2020委員会

5) その他会議(外部会議への参加)

日本救急医学会、全国MC協議会連絡会、日本救急撮影技師認定機構、日本臨床衛生検査技師会、

J P T E C協議会、日本蘇生協議会(JRC)、日本救急医療財団、小児救急連絡協議会、

臓器移植関連学会協議会、医療安全全国共同行動、救急認定ソーシャルワーカー認定機構、

日本母体救命システム普及協議会(日本産婦人科医会)、日本交通科学学会、

病院前救護統括体制認定機構(旧 救急救命士の社会的利活用検討協議会)、日本救護救急学会、

2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体

6. 評議員選出 421名

(医師 271名、看護師 38名、救急隊員・救急救命士 19名、薬剤師 44名、臨床検査技師 19名、
診療放射線技師 17名、専任教員・大学教員 3名、全国消防長会推薦 10名(あて職))

7. 役員選出 15名(理事候補8名、監事候補2名、非選挙理事5名)

8. 研修会企画・運営およびコースガイド編集

・ J T A S

・ P E E C / P P S T

・ P S L S / P C E C / A C E C / I S L S

・ P E M E C / P P M E C

・ N A E M T

資料 2-1

9. 救急認定薬剤師認定関連

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、
2020 年度救急認定薬剤師講習会、第 10 回救急認定薬剤師認定試験、
および更新講習会（第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 会期中）を中止とした。

以上

予算・決算比較損益計算書(合計)

自2020年4月1日 至2021年3月31日

一般社団法人日本臨床救急医学会

(単位:円)

区分		予算額	決算額	増減	備 考
経常損益の部					
収入の部	1. 学術集会関連収入	51,330,000	54,186,371	2,856,371	第23回学術集会
	2. 会費収入	37,350,000	35,880,000	△ 1,470,000	
	正会員	36,000,000	34,590,000	△ 1,410,000	3,459名×1万円
	全国消防長会	100,000	100,000	0	10支部×1万円
	組織会員	1,100,000	1,040,000	△ 60,000	104口×1万円
	賛助会員	150,000	150,000	0	3社×5万円
	3. 広告収入	800,000	781,000	△ 19,000	機関誌広告
	4. その他事業収入	660,000	315,000	△ 345,000	
	緊急度判定支援システム事業	300,000	81,000	△ 219,000	登録手数料
	救急認定薬剤師認定	0	4,000	4,000	バッジ更新料
	PEMECコース	360,000	230,000	△ 130,000	認定手数料
	5. 学会誌定期購読料	600,000	690,000	90,000	@3000円
	6. その他収入	656,000	561,213	△ 94,787	
	機関誌販売	10,000		△ 10,000	バックナンバー @1,500円+送料
	著作権収入	200,000	173,077	△ 26,923	
	印税収入	430,000	387,430	△ 42,570	JTAS、PEEC他
	PSLS CD販売	5,000	0	△ 5,000	@500円
	自殺未遂患者ケアスタッフ手引販売	10,000	0	△ 10,000	@200円
	預金利息	1,000	706	△ 294	
	収入合計	91,396,000	92,413,584	1,017,584	
支出の部	1. 事業費	78,264,501	77,957,050	307,451	
	学術集会関連費	51,238,000	54,408,374	△ 3,170,374	第23回学術集会(田中会長)
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0	第23回学術集会(田中会長)
	学会誌発行費	17,029,600	16,699,435	330,165	
	通常号	10,570,000	8,844,020	1,725,980	23巻1～2、4～6号(計5冊分)
	印刷製本	10,000,000	8,341,017	1,658,983	学会通信作製含む
	事務通信	70,000	73,716	△ 3,716	査読用切手・封筒代
	発送費	500,000	429,287	70,713	5回
	総会号	5,887,600	7,367,015	△ 1,479,415	23巻3号(抄録号)
	印刷製本	4,300,000	5,652,792	△ 1,352,792	
	事務通信	80,000	77,000	3,000	
	発送費	1,507,600	1,637,223	△ 129,623	
	オンライン査読システム運用費	572,000	488,400	83,600	年間ランニング費用+サーバート料
	ニュースレター発行費	1,600,000	1,749,247	△ 149,247	
	制作費	700,000	637,950	62,050	2回
	発送費	900,000	1,111,297	△ 211,297	2回
	会議費	2,840,000	453,414	2,386,586	
	理事会	500,000	4,166	495,834	対面開催無し
	委員会	2,300,000	449,248	1,850,752	JTAS小委員会、編集委員会、評議員選出委員会等
	その他	40,000	0	40,000	外部会議への出席
	講習会・認定事業	3,176,901	1,724,847	1,452,054	
	緊急度判定支援システム事業	2,775,067	1,338,438	1,436,629	
	薬剤師認定関連	242,500	239,225	3,275	
	PEECコース費用	85,167	75,167	10,000	
	PEMECコース費用	74,167	72,017	2,150	
	その他	380,000	921,733	△ 541,733	
	日本蘇生協議会年会費	200,000	200,000	0	正社員として参画
	「救急の日」賛助金	100,000		100,000	「救急の日」イベント中止
	医療安全全国共同行動会費	50,000	50,000	0	正会員会費1口分
	東京リハビリ救急災害医療体制負担金	20,000	20,000	0	
	ソフトウェア償却費	0	651,733	△ 651,733	(減価償却) 脆弱性対策のための修繕費 セキュリティ強化のためのOS更新
	期首棚卸高	52,579	52,579	0	手引 期首在庫
	期末棚卸高	△ 42,579	△ 52,579	10,000	手引 期末在庫
	2. 事務費	11,481,000	8,954,582	2,526,418	
	通信連絡費	1,200,000	857,047	342,953	
	送料	1,100,000	756,893	343,107	
	電話料金	100,000	100,154	△ 154	固定電話、携帯電話1台
	サーバー運用費	66,000	66,000	0	月5,000円 HPサイトのCMS保守費用
	事務委託費	6,400,000	6,133,710	266,290	月30万円+繁忙期約197万円
	支払手数料	200,000	483,539	△ 283,539	会費支払時振込手数料学会負担分、他
	印刷費	2,000,000	91,659	1,908,341	
	備 品	10,000		10,000	
	消耗品費	250,000	84,316	165,684	
	事務局出張旅費	5,000	1,492	3,508	
	租税公課	300,000	180,819	119,181	
	支払報酬	1,000,000	1,056,000	△ 56,000	税理士
	雑 費	50,000	0	50,000	
	3. 予備費	1,000,000	422,866	577,134	JTAS、PEEC、PEMEC、AMLS商標権更新料等
	支出合計	90,745,501	87,334,498	3,411,003	
税引前当期経常利益		650,499	5,079,086	4,428,587	
法人税・住民税等		1,070,000	70,000	1,000,000	
当期純利益		△ 419,501	5,009,086	5,428,587	

資料 3-1

一般社団法人 日本臨床救急医学会 令和3(2021)年度事業計画

1. 第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会

テーマ:「みんなで挑戦! 救急医療」

LIVE 配信: 令和3(2021)年6月10日(木)~12日(土)

オンデマンド配信: 令和3(2021)年6月10日(木)~30日(水)

会 長: 松田 潔先生(日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター救命救急科 教授)

2. 学会雑誌発行及びオンラインジャーナル 24巻(3~6号)、25巻(1号)(隔月刊)

3. 抄録集の発行 24巻(2号)

4. ニュースレターの発行 第11、12号(年2回)

5. 会議開催

1) 理事会 年間4回(定款上)

2) 社員総会 令和3(2021)年6月10日(木)

於 パシフィコ横浜ノース 3階 G314+G315、Zoom ウェビナー配信

3) 会員総会 学会ホームページにて報告

4) 各種委員会活動(19委員会)

編集委員会、総務委員会、メディカルコントロール検討委員会、会則検討委員会、教育研修委員会、
評議員選出委員会、広報委員会、丸茂救急医学研究振興基金運営委員会、
学校へのBLS教育導入検討委員会、自殺企図者のケアに関する検討委員会、国際委員会、
救急認定薬剤師認定委員会、緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会、研究倫理委員会、
小児救急委員会、患者安全検討推進委員会、
傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生のあり方に関する検討委員会、
法執行機関との医療連携のあり方に関する検討委員会、蘇生ガイドライン2020委員会

5) その他会議 (外部会議への参加)

日本救急医学会、全国MC協議会連絡会、日本救急撮影技師認定機構、日本臨床衛生検査技師会、
J P T E C協議会、日本蘇生協議会(JRC)、日本救急医療財団、小児救急連絡協議会、
臓器移植関連学会協議会、医療安全全国共同行動、救急認定ソーシャルワーカー認定機構、
日本母体救命システム普及協議会(日本産婦人科医会)、日本交通科学学会、
病院前救護統括体制認定機構(旧 救急救命士の社会的利活用検討協議会)、日本救護救急学会、
2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体

6. 研修会企画・運営およびコースガイド編集

- ・ J T A S
- ・ P E E C / P P S T
- ・ P S L S / P C E C / A C E C / I S L S
- ・ P E M E C / P P M E C
- ・ N A E M T

7. 救急認定薬剤師認定関連

2021年度救急認定薬剤師講習会(2021年9月4日(土) Web (Zoom))、

更新講習会(第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会 会期中)、

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、第10回救急認定薬剤師認定試験は中止とする。

以上

(2021年4月1日～2022年3月31日)					
		R2年度予算	R2年度決算	R3年度予算	概 要
(収入の部)	1. 学術集会関連収入	51,330,000	54,186,371	40,267,000	第24回総会（松田会長）
	2. 会費収入	37,350,000	35,880,000	35,300,000	
	正会員	36,000,000	34,590,000	34,050,000	10,000円×3,300名（現会員数の約80％程度） +105万円（JTAS関連新入会）
	全国消防長会	100,000	100,000	100,000	10支部×10,000円
	組織会員	1,100,000	1,040,000	1,000,000	100口×10,000円
	賛助会員	150,000	150,000	150,000	3社×50,000円
	3. 広告収入	800,000	781,000	800,000	機関誌広告
	4. その他事業収入	660,000	315,000	3,960,000	
	①緊急度判定支援システム事業	300,000	81,000	360,000	登録手数料
	②救急認定薬剤師認定	0	4,000	2,880,000	申請・更新手数料、認定料
	③PEECコース	0	0	0	地域主催者で徴収
	④PEMECコース	360,000	230,000	720,000	認定手数料
	5. 学会誌定期購読料	600,000	690,000	690,000	@ 3,000円
	6. その他収入	656,000	561,213	691,000	
	機関誌販売	10,000	0	10,000	バックナンバー @1,500円+送料
	著作権収入	200,000	173,077	200,000	メディカルオンライン 等
	印税収入	430,000	387,430	465,000	JTAS, PEEC, PEMEC他
	PSLS CD販売	5,000	0	5,000	@500円
	自殺未遂患者ケアスタッフ手引販売	10,000	0	10,000	@200円
	預金利息	1,000	706	1,000	
収入合計		91,396,000	92,413,584	81,708,000	
(支出の部)	1. 事業費	78,264,501	77,957,050	67,061,903	
	1) 学術集会関連費	51,238,000	54,408,374	40,153,703	第24回総会（松田会長）
	2) 学術集会運営費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	第24回総会（松田会長）
	3) 学会誌発行費	17,029,600	16,699,435	17,227,000	
	通常号	10,570,000	8,844,020	10,575,000	24巻1, 3, 4～6号（計5冊分）
	印刷製本	10,000,000	8,341,017	10,000,000	200万円×5冊
	事務通信	70,000	73,716	75,000	査読用切手代・封筒代
	発送費	500,000	429,287	500,000	10万円×5回
	総会号	5,887,600	7,367,015	6,080,000	24巻2号（抄録号）
	印刷製本	4,300,000	5,652,792	4,500,000	
	事務通信	80,000	77,000	80,000	
	発送費	1,507,600	1,637,223	1,500,000	送料+手数料
	オンライン査読システム運用費	572,000	488,400	572,000	年間メンテナンス費用+サポート料
	4) ニュースレター発行費	1,600,000	1,749,247	1,900,000	
	製作費	700,000	637,950	700,000	A4/8頁（4色刷り）；4,500部×2回
	発送費	900,000	1,111,297	1,200,000	送料+手数料、封筒代込み
	5) 会議費	2,840,000	453,414	1,520,000	※web会議開催含む
	理事会	500,000	4,166	500,000	定例4回（対面1回見込み）
	委員会	2,300,000	449,248	1,000,000	19委員会・小委員会・コース普及活動含む ZOOMアカウント料金
	その他	40,000	0	20,000	外部会議への出席
	6) 講習会・認定事業	3,176,901	1,724,847	2,040,000	
	①緊急度判定支援システム事業	2,775,067	1,338,438	580,000	ODPEC委託料、他
	②薬剤師認定関連	242,500	239,225	1,220,000	事務費、通信費他
	③PEECコース	85,167	75,167	120,000	ODPEC委託料
	④PEMECコース	74,167	72,017	120,000	ODPEC委託料
	7) システム費	0	651,733	1,841,200	
	ソフトウェア償却費	-	651,733	745,600	(減価償却) 脆弱性対策のための修繕費604,800円 強化のためのOS更新費140,800円
	受講システム等修繕費			39,600	JTAS改修費（月3,000円＋消費税）39,600円
	サーバー運用費			1,056,000	JTASサーバー運用費
	8) その他事業費	380,000	270,000	380,000	
	日本蘇生協議会年会費	200,000	200,000	200,000	正社員として参画
	「救急の日」賛助金	100,000	0	100,000	
	医療安全全国共同行動会費	50,000	50,000	50,000	正会員 会費1口分
	東京救急救急災害医療体制負担金	20,000	20,000	20,000	
	期首棚卸高	52,579	52,579	52,579	手引 期首在庫
	期末棚卸高	△ 42,579	△ 52,579	△ 42,579	手引 出庫見込
	2. 事務費	11,481,000	8,954,582	11,270,000	
	通信連絡費	1,200,000	857,047	1,230,000	
	送料	1,100,000	756,893	1,100,000	
	電話料金	100,000	100,154	130,000	固定電話6万円＋携帯2台6万円＋税
	サーバー運用費	66,000	66,000	66,000	月5,000円＋税
	事務委託費	6,400,000	6,133,710	6,664,000	月30万円＋繁忙期α＋消費税 HP・Facebook更新料
	支払手数料	200,000	483,539	500,000	
	印刷費	2,000,000	91,659	500,000	
	備品費	10,000	0	210,000	PC購入
	消耗品費	250,000	84,316	250,000	
	事務局出張旅費	5,000	1,492	20,000	
	租税公課	300,000	180,819	300,000	
	支払報酬	1,000,000	1,056,000	1,480,000	税理士・司法書士（登記変更、法務コンサルタント）
	雑費	50,000	0	50,000	
	3. 予備費	1,000,000	422,866	1,000,000	
支出合計		90,745,501	87,334,498	79,331,903	
単年度収支（税引前当期経常利益）		650,499	5,079,086	2,376,097	
法人税・住民税等		1,070,000	70,000	1,070,000	学術集会1,000,000円＋一般会計70,000円
当期純利益		△ 419,501	5,009,086	1,306,097	
前期繰越利益		43,465,873	43,465,873	48,474,959	
次期繰越利益		43,046,372	48,474,959	49,781,056	

資料 4

一般社団法人 日本臨床救急医学会 役員改選について

1. 理事 11名以上14名以内〔定款第19条〕

任期：令和3年6月10日から2年（2年後の定時社員総会終結時まで〔定款第21条〕）

1) 【選挙理事】9名以内〔施行細則第19条第2項〕

立候補者（敬称略・五十音順）

- (1) 田中 秀治（国士舘大学大学院 救急システム研究科）
- (2) 田邊 晴山（救急振興財団 救急救命東京研修所）
- (3) 富岡 譲二（社会医療法人 緑泉会 米盛病院 救急科）
- (4) 藤見 聡（大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センター 救急診療科）
- (5) 松田 潔（日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター）
- (6) 溝端 康光（大阪市立大学大学院 医学研究科 救急医学）
- (7) 森村 尚登（帝京大学医学部 救急医学講座）
- (8) 守谷 俊（自治医科大学附属さいたま医療センター 救急部）

※定数以内のため投票は行いません。〔定款施行細則第23条第3項〕

2) 【非選挙理事】5名以内〔施行細則第19条第2項〕

- | | |
|----------------|-------|
| (1) 日本医師会 | 長島 公之 |
| (2) 日本救急看護学会 | 佐藤 憲明 |
| (3) 全国消防長会 | 門倉 徹 |
| (4) 日本病院薬剤師会 | 鈴木 昭夫 |
| (5) 日本診療放射線技師会 | 西池 成章 |

▼非選挙理事選考委員会の設置〔定款施行細則第25条及び第26条〕

委員長：溝端副代表理事、委員：坂本代表理事、森村庶務担当理

2. 監事 2名以内〔定款第19条〕

任期：令和3年6月10日から4年（4年後の定時社員総会終結時まで〔定款第21条〕）

【選挙監事】

立候補者（敬称略・五十音順）

- 1) 加藤 正哉（和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座）
- 2) 坂本 哲也（帝京大学医学部附属病院）

※定数以内のため投票は行いません。〔定款施行細則第30条第3項〕

以上

The 25th Congress of Japanese Society for Emergency Medicine 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会

(令和3(2021)年度会員総会 資料)
資料5

智・仁・勇を
探求し、
逆境を力に

会 期

2022年5月25日(水)～27日(金)

会 長

溝端 康光

(大阪市立大学大学院医学研究科 救急医学)

副会長

茂松 茂人

(大阪府医師会 会長)

小西 一功

(大阪市消防局 局長)

会 場

大阪国際会議場

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

特別講演

藤川 球児

野球評論家

阪神タイガーススペシャルアドバイザー

森岡 毅

株式会社 刀

代表取締役 CEO

【事務局】

大阪市立大学大学院医学研究科 救急医学
〒545-8585
大阪市阿倍野区旭町1-4-3

【運営事務局】

日本コシベンションサービス株式会社 関西支社
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2F
TEL:06-6221-5933 E-mail:jsem25@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jsem25/>



資料 6

定款施行細則 附則 1 の追加と第 11 章の削除について

今回のコロナ感染症等、不測の事態の際、社員総会が現地で開催できない場合、郵送又はインターネットを利用した選挙理事及び監事候補者の選挙を開催できる条文を、附則 1 として追加したいと思います。

また、「第 11 章 附則」の第 40 条は設立時のものを定めたもののため、今回削除致します。

(※定款施行細則より抜粋)

第 10 章 施行細則の改正

第 39 条 本施行細則の改正は、理事会及び社員総会の議決を経た上、会員総会に報告する。

~~第 11 章 附 則~~

~~第 40 条 本細則の規定にかかわらず、当法人の最初の評議員は、当法人成立前に日本臨床救急医学会の評議員であった者とする。~~

附則 1. 天災、疫病の蔓延等により物理的な社員総会の開催、評議員の出席が困難である場合には、本細則第 23 条及び第 30 条の規定にかかわらず、理事会の決議に基づき、郵送又はインターネットを利用した投票により選挙理事及び監事候補者の選挙を実施することができる。

以上

- ・この細則は、平成 21 年 6 月 10 日から施行する。
- ・この改正は、平成 23 年 6 月 2 日から施行する。
- ・この改正は、平成 27 年 6 月 4 日から施行する。
- ・この改正は、平成 29 年 5 月 26 日から施行する。
- ・この改正は、令和 2 年 10 月 13 日から施行する。
- ・この改正は、令和 3 年 6 月 10 日から施行する。

以上